

のり面の補修・補強工法

[ピンナップ工法] & [吹付受圧板工法]

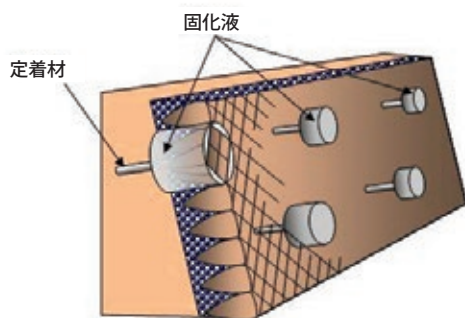
防災技術研究部

効果的・経済的にのり面の補修・補強ができます

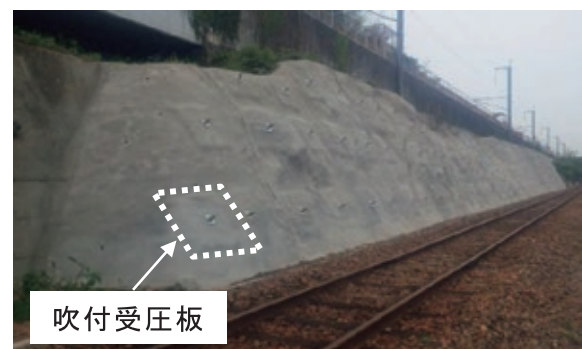
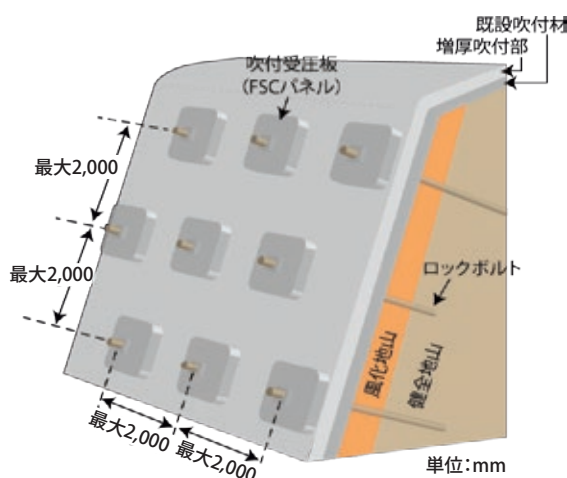
鉄道沿線に施工されている石積み壁の地震時の安定性を向上させる「ピンナップ®工法」と、老朽化した吹付のり面を補修・補強する「吹付受圧板®工法」を開発しました。

【特徴】

- 「ピンナップ®工法」では、石積み壁の表面に設置されるものは定着材の頭部治具のみであるため、石積み壁が持つ景観や風合いをそのまま残すことができます。
- 「吹付受圧板®工法」では、既設の老朽化した吹付工をはつりとする作業の必要がなく、また、吹付受圧板を用いることで風化した地山を補強するための補強材（ロックボルト）の施工本数を削減することができます。



ピンナップ®工法の施工イメージ（左）と施工事例（右）



吹付受圧板®工法の施工イメージ（左）と施工事例（右）

※上記工法の設計・施工要領の購入については（一財）研友社にお問い合わせください。

※「ピンナップ工法」については鉄道総研と大林組の2社で、「吹付受圧板工法」については鉄道総研と日特建設の2社で特許を取得しています。

※「ピンナップ®」は大林組の、「吹付受圧板®」と「FSCパネル®」は日特建設の登録商標です。